

序

博物館は物の展示によって、観客にその土地の自然や文化を知らしめる役割りを担っております。

ところで、その物が展示されるまでには、それらの物を生み出した地域社会の人々の生活や風習、自然環境等を詳しく調査研究する必要があり、そのような裏付けのない展示は観客の理解を深めることは困難であります。けれども、単に地域社会といっても沖縄のそれは範囲が非常に広汎で、しかも小さな数多くの島々から形成されているため、その全域を調査することは、容易なことではありません。

しかも、どの島も古い歴史と独自の風習をもちつつ、島ごとに相互に連携をたもち、かつ、沖縄本島とも深くかかわっております。そのため、どのような小さな島でも調査をゆるがせにすることはできません。それゆえに当館では学芸員が、沖縄本島各地は勿論のこと、つとめて各離島にも出かけ、多くの方々の御支援のもとに調査研究を行ない、その結果を報告してきました。

だが、これまでの調査研究も、数多い資料や展示物の上から見ればまだわずかなもので、前途は遼遠であります。それで私達は今後もっと調査研究に励み、それを展示物に反映させ、さらに教育普及面にも活用させたいと思います。

なお、来年は調査の方法をすこし変えて、学芸員全員協同で一つの島を総合的に調査し、その結果を特別展等で公開し、また、それらの報告で本誌をもっと充実させようとの計画もたてております。どうか今後とも皆様方の一層の御指導と御鞭撻を賜わるようお願い申し上げます。

昭和 53 年 3 月 1 日

沖縄県立博物館長

外 間 正 幸